

2021年度
令和3年度
第12期
事業報告書

2022年5月26日

2011年の、東日本大震災による寄付への関心・意識の高まりや、「市民公益税制」の整備、そして2012年の、内閣府の基金事業「新しい公共支援事業」をきっかけとする市民コミュニティ財団設立の動きが広がった。またクラウドファンディングの浸透など、寄付や社会貢献への意識や期待は高まっていた。2014年には、市民コミュニティ財団の全国組織である一般社団法人全国市民コミュニティ財団協会が設立。2016年には遺贈寄付を推進する全国レガシーギフト協会の設立（当財団加盟）や休眠預金活用に係る法律（2016年12月9日）し、2019年度より、第1回の休眠預金活用事業が実施された。地域社会を構築していくための社会的投資の動きが活発になっている。一方で、市民の志を基にする社会資源を活用するには高い倫理規範と成果を求められている。

2021年度は第12期となり、新型コロナウイルスの終息は見られず感染対策に迫られる年となった。社会のニーズ変化に伴い、今までの事業モデルの転換等が求められた。当財団では、公2の資金循環事業では、休眠預金事業の新型コロナウイルス対応緊急支援助成を活用し、コロナ禍での状況変化に対応するための助成事業を実施した。また、寄付と助成のプログラムにはコロナ禍での寄付金募集の相談が多く寄せられた。地域円卓会議では、コロナ禍で多くの人が集まったの会議が難しくなったことから、オンラインや、対面とオンラインを組み合わせた円卓会議を実施し、13回開催した。琉球大学の公共政策士の講義では、円卓会議の開催方法については全15の講義を行い、ノウハウの提供を行った。10周年事業として遺贈寄付を考える円卓会議を実施した。寄付と助成のプログラムにおいては多くの寄付金が寄せられた。

2021年度 方針
に基づき事業実施

- ◆ 地域円卓会議を実施し課題の可視化と共有、ノウハウの提供
- ◆ 公益税制を活用した基金事業の実施
- ◆ 休眠預金交付金事業・沖縄・離島子どもの派遣基金事業の取組
- ◆ 寄付者の意思をより課題解決を促す資金として反映させるためにコレクティブインパクト基金のシステム構築
- ◆ 10周年事業の開催
- ◆ ガバナンスコンプライアンス体制の構築

社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

当法人は、沖縄における公益活動団体と、公益活動を支えたい企業、団体、個人等とを橋渡しするため、市民活動の社会的基盤の充実を図り、諸資源の循環をもたらすことで、地域のあらゆる主体が公益を担い、沖縄の未来を支え合う社会の実現に寄与することを目的とする。
(定款第3条)

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

公益ポータルサイトの運営
ソーシャル・ヒトワク
広報誌等による情報発信
県内外の寄付文化に関する情報収集と発信

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

市民活動を支援する基金の運営
市民活動団体への寄付と助成のプログラム提供
寄付文化を醸成するフォーラム等の開催
他機関の助成プログラム等の支援
企業CSR/CRMの促進

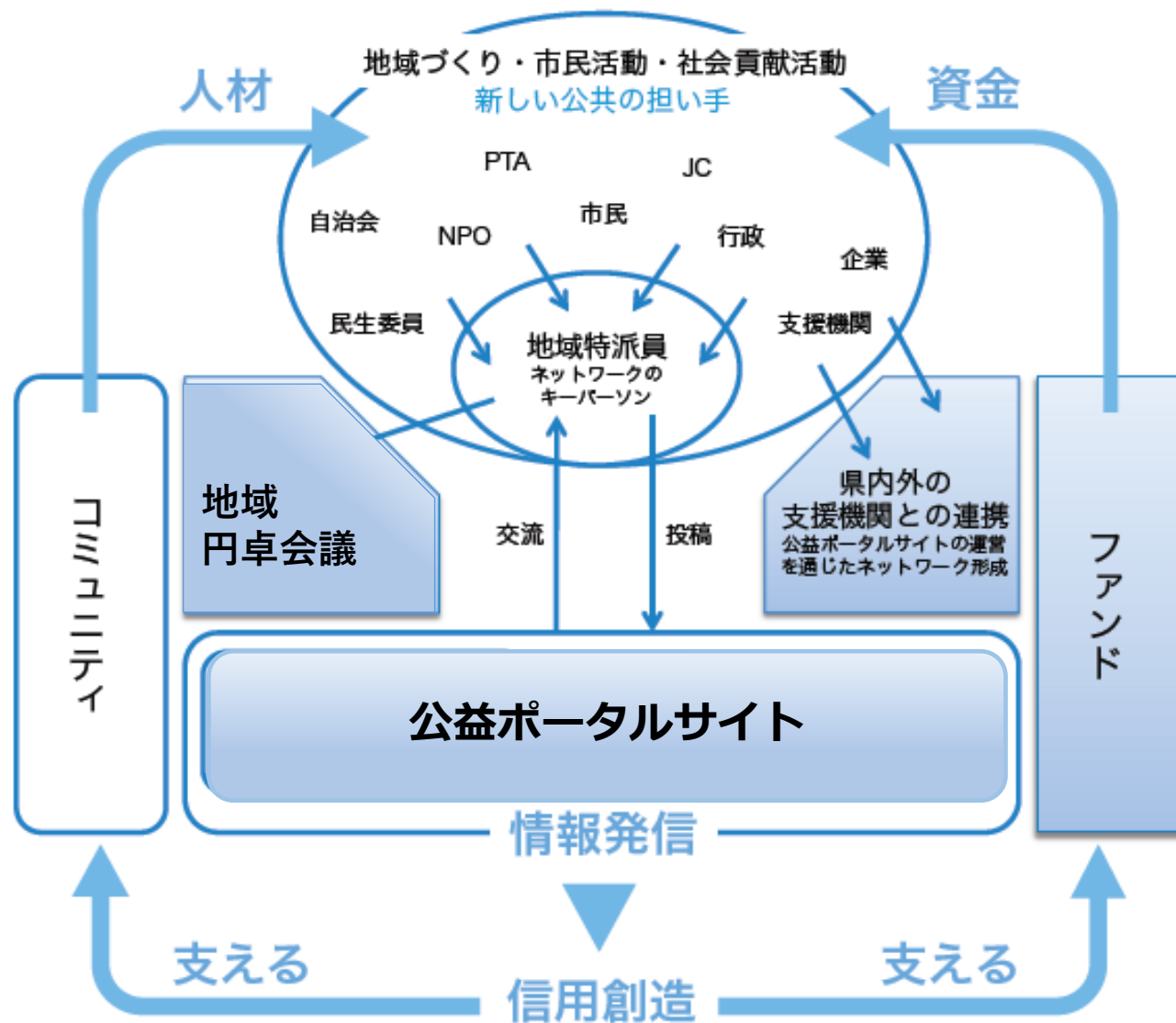
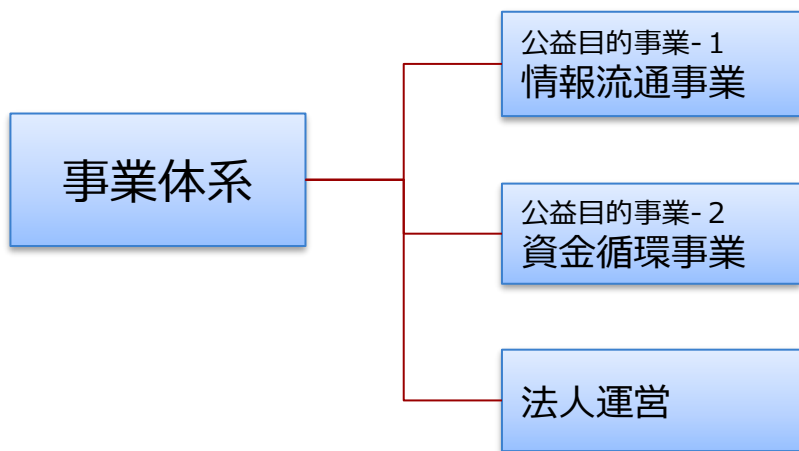
事業スキーム

社会の共感を育て、資金の循環を促すしくみの構築に取り組む

当財団は、市民コミュニティ財団として公益法人格を有して、以下の公益目的事業を実施する。

コミュニティ財団とは、地域の人々によって設立され、地域のために活動する慈善事業組織です。この組織は、地域からの寄付によって成り立ち、市民によって構成される理事会によって運営され、地域社会のより良い暮らしのために活動しています。資金源は多種多様であり、地域社会の長期的な生活の質の向上のために活用されています。これらの資金は地域社会の代表の選択により各種組織・目的に向けて配分されます。

(全国コミュニティ財団協会資料より抜粋)



社会の共感を育て、資金の循環を促す仕組みの構築

情報流通

市民活動の情報発信を促進し、市民の“共感”を育む

資金循環

“共感”による寄付で、市民活動団体が自律的かつ継続的に活動できる環境づくりをめざす

法人運営

公益ポータルサイトの再構築

- 団体DBの絞り込み（＝助成団体の数）・基金ページの再構築
- CANPAN新しい情報を入れるとメリットが団体側にある（CANPANの★連携は残す。企業には情報公開したくない団体も）
- 個人（ex, 宇温基金）・企業も含めた情報流通のコンセプトの再検討
- 企業の社会貢献（CSR、CSV）の見える化（PRの場）することでビジネスチャンスも、企業広告を載せる（投資側も含めての視点、ESG投資）
- 過去の助成実施報告の発信

基金目的を達成する為の基金運営方法の構築

- たくすC-8基金の運営、助成と終結（伴走支援の方法として、運営委員会方式を導入する。団体にステークホルダーをつける）今後の条件とするか。運営マニュアルの策定。みらいFの商材にはなっている。
- じぶん基金-3基金の運営方法（運営委員会方式（事務局委員設置、運営方針、助成方針を決める）は一定の成果）
- PO育成（FRと連携、沖縄20名、沖縄だけでなく）で。人材育成の視点（アンビシャス（シンカブルの導入）

寄付環境を担う人材育成と遺贈寄付の取組（10年の検証と次の目標設定）

- 遺贈寄付の受入体制をつくる（重点項目としたい）（銀行も商材を持っていない状況）
- POの育成
- 10周年事業にすべてからめる

CI基金・部活派遣基金のファンドレイズ体制の構築

- 休眠・部活自己資金20%（423万円）
- （2022年度：実行団体への助成額360万円）
- 複雑な寄付募集でのSF管理体制の構築
- 休眠預金の資金分配団体の検討
- 他の人が円卓会議をチャレンジ

ガバナンス・コンプライアンス体制を高め社会的に信頼される財団運営の構築

- ガバナンス・コンプライアンス委員会の設置
- コンプライアンス研修
- 内部通報窓口の設置

2020年度の受入寄付額 7,394,952円 (385件)
前年度比 32,942,806円 (+967件)

基金

● 寄付総額 40,337,758円 (1,352件)

- 2021年度内の採択：第14期たくす 5事業（ぴんくばんさぁ・沖縄県女性の翼・株式会社アソシア・子どもの居場所こばんち・一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ）
- カスタマイズ 6事業（首里城アーカイブ基金、多文化ネットワークfuふ！おきなわ基金、ドネーションショップ基金、まちなか留学基金、ミマモライド基金、フードバンクオキナワ基金）
- じぶん基金：4基金 新崎盛暉平和活動奨励基金、宮里大八国際交流基金、琉球宇温基金、中野五海・篠木あつ子基金）
- うむさん基金（Ryukyufrogs基金、エンカレッジ基金）、沖縄まちと子ども基金、沖縄・離島の子ども派遣基金、首里まちづくり基金
- 寄付募集目標総額 22,020千円 前年度受付寄付総額 7,394千円

● 寄付月間2021

- 遺贈寄付を考える円卓会議（みらいファンド10周年記念）

● 助成総額 41,280,010円 休眠預金事業含む ※休眠コロナ除く

- たくす：第13期 2団体、第14期 2団体、うむさん基金 2団体（うむさんラボ、Ryukyufrogs）—
- じぶん基金：新崎盛暉平和活動奨励基金 助成実施 2名、琉球宇温基金 助成実施 2団体

● 地域円卓会議が好評！ 13回開催・支援

- 開催場所（那覇市、八重瀬町、ハイブリットオンライン開催）
- テーマ（子どもの貧困、八重瀬まちづくり、遺贈寄付を考える、子どもの権利条例）
- 休眠部活円卓会議7本を主催

● 休眠預金活用事業、2021年度通常枠決定

- 2019年度通常枠：沖縄・離島子どもの派遣基金事業
- 2020年度コロナ枠：『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業→完了
- 2021年度通常枠：「見守り自販機を活用した道迷い捜索と地域作り」



2022年3月3日
首里まちづくり基金、第1号寄付者オリオンビール株式会社との共同記者会見

助成

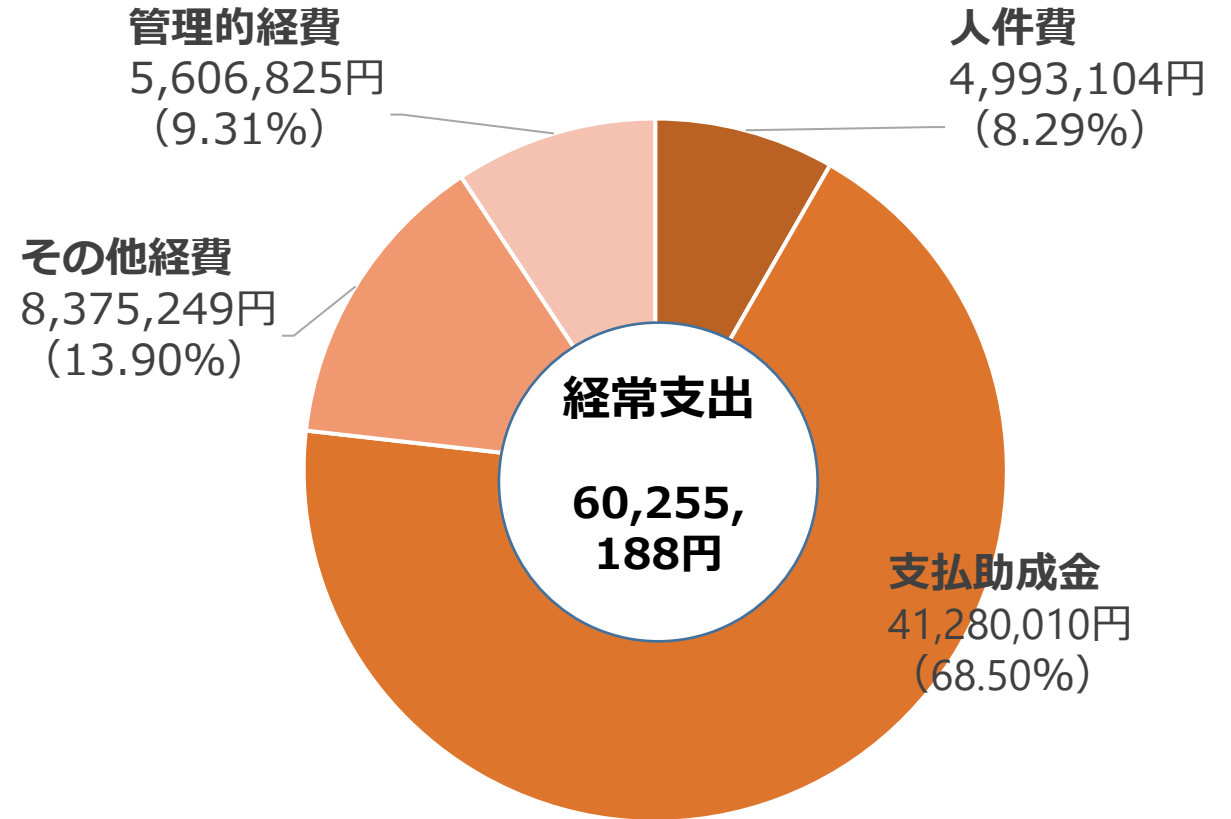
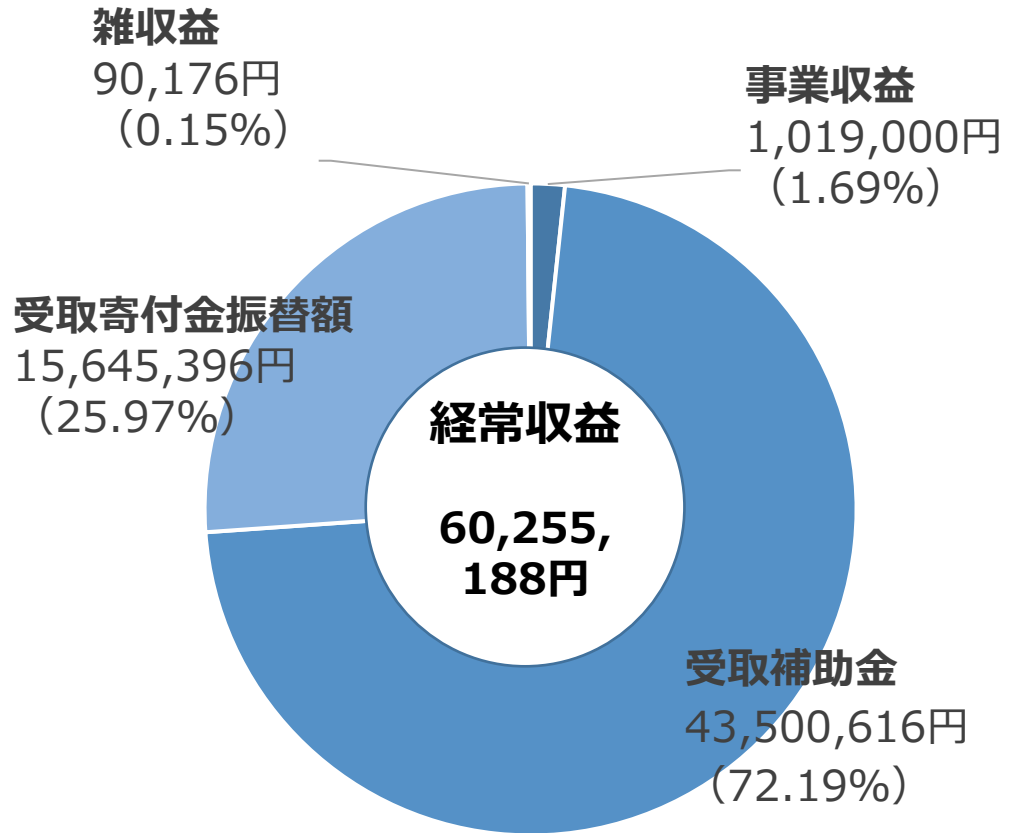
課題解決



ハイブリット円卓会議（対面+オンライン）
12/11 南城市デジタルアーカイブ活用円卓会議

■ 公益目的事業 事業項目	■ 成果目標	■ 達成状況 ◎ ○ ▲ △ ×
公1 ー情報流通 ● <u>(1) 公益ポータルサイトの運営</u>	<u>公益ポータルサイトの再構築</u> ▶ 団体DBの絞り込み (= 助成団体の数) ・ 基金ページの再構築 ▶ 個人 (ex, 宇温基金) ・ 企業も含めた情報流通のコンセプトの再検討 ▶ 企業の社会貢献 (CSR、CSV) の見える化 (PRの場) することでビジネスチャンスも、企業広告を載せる (投資側も含めての視点、ESG投資) ▶ 過去の助成実施報告の発信	▲ × × ▲
公2 ー資金循環 ● <u>(1) ~ (4) 市民が市民の活動を支える基金</u>	<u>基金目的を達成する為の基金運営方法の構築</u> ▶ たくすC-8基金の運営、助成と終結。運営マニュアルの策定。みらいFの商材にはなっている。 ▶ じぶん基金-3基金の運営方法 (運営委員会方式 (事務局委員設置、運営方針、助成方針を決める) は一定の成果) ▶ PO育成 (FRと連携、沖縄20名、沖縄だけでなく) で。人材育成の視点	× × ×
● <u>寄付を促す社会環境づくり</u>	<u>寄付環境を担う人材育成と遺贈寄付の取組 (10年の検証と次の目標設定)</u> ▶ 遺贈寄付の受入体制をつくる (重点項目としたい) (銀行も商材を持っていない状況) ▶ POの育成 ▶ 10周年事業にすべてからめる	△ △ ○
● <u>(5) 他機関の助成プログラム等の支援</u>	<u>CI基金・部活派遣基金のファンドレイズ体制の構築</u> ▶ 休眠・部活自己資金20% (423万円) (2022年度：実行団体への助成額360万円) ▶ 複雑な寄付募集でのSF管理体制の構築 ▶ 休眠預金の資金分配団体の検討	○ ○ ○
● <u>(6) マッチングイベントの実施</u>	<u>社会課題の可視化と取組</u> ▶ 他の人が円卓会議をチャレンジ	○
法人運営	<u>ガバナンス・コンプライアンス体制を高め社会的に信頼される財団運営の構築</u> ▶ ガバナンス・コンプライアンス委員会の設置 ▶ コンプライアンス研修 ▶ 内部通報窓口の設置	○ ○ ○

2021年度収支内訳



決算（前年度実績対比）－経常増減の部

	2021年度 (実績) (a)	2020年度 (実績) (b)	差額 (a)-(b)	説明
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部 (1) 経常収益				
事業収益	1,019,000 (1.69%)	1,718,500	-699,500	・円卓会議で事業収益があったのが5/13件 →7本は休眠事業内、1本は周年事業で行った ため、事業収益には計上されなかった
受取補助金等	43,500,616 (72.19%)	52,535,634	-9,035,018	・休眠事業（部活、コロナ2021年7月終結 (2020年度に助成実施)）、2021年通常枠を 新規採択（2月）（2022年度に助成実施）
受取寄付金振 替額	15,645,396 (25.97%)	6,115,092	9,530,304	・寄付と助成の仕組みたくす14期が5団体が採 択され、昨年度より多くの寄付金が寄せられ、 助成につなぐことができた
雑収益	90,176 (0.15%)	61,718	28,458	
経常収益計	60,255,188	60,430,944	-175,756	

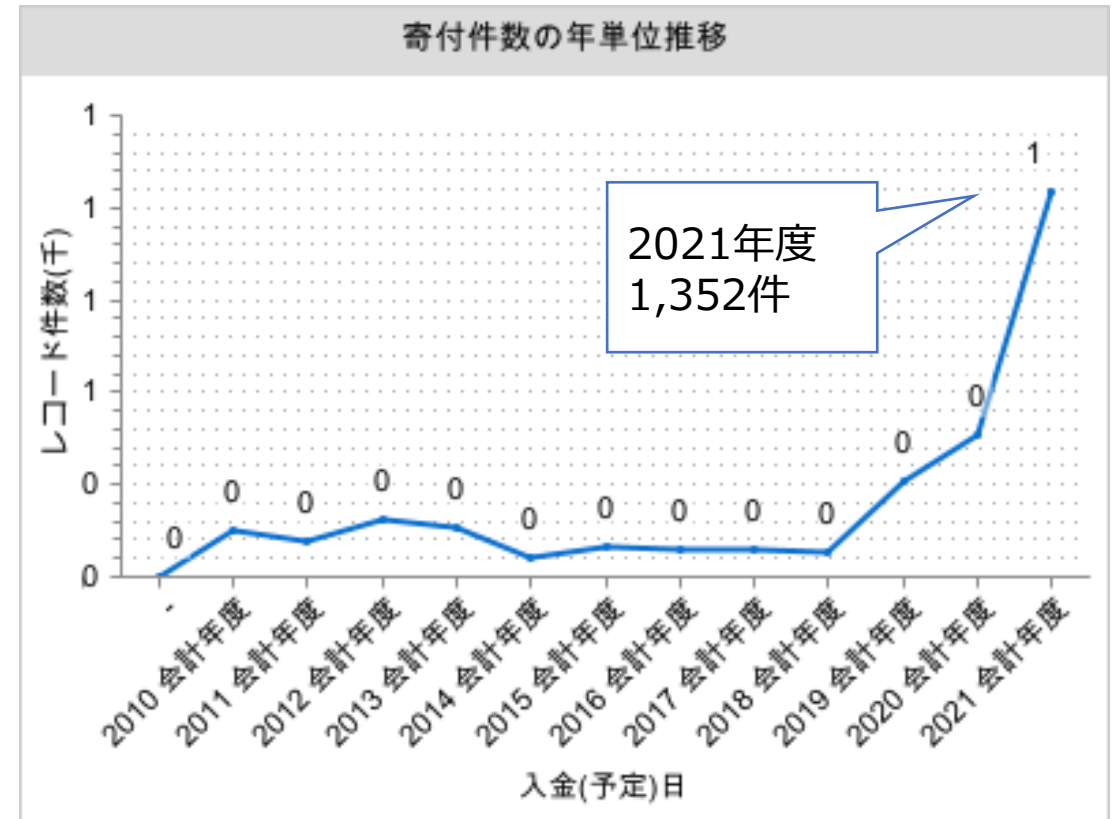
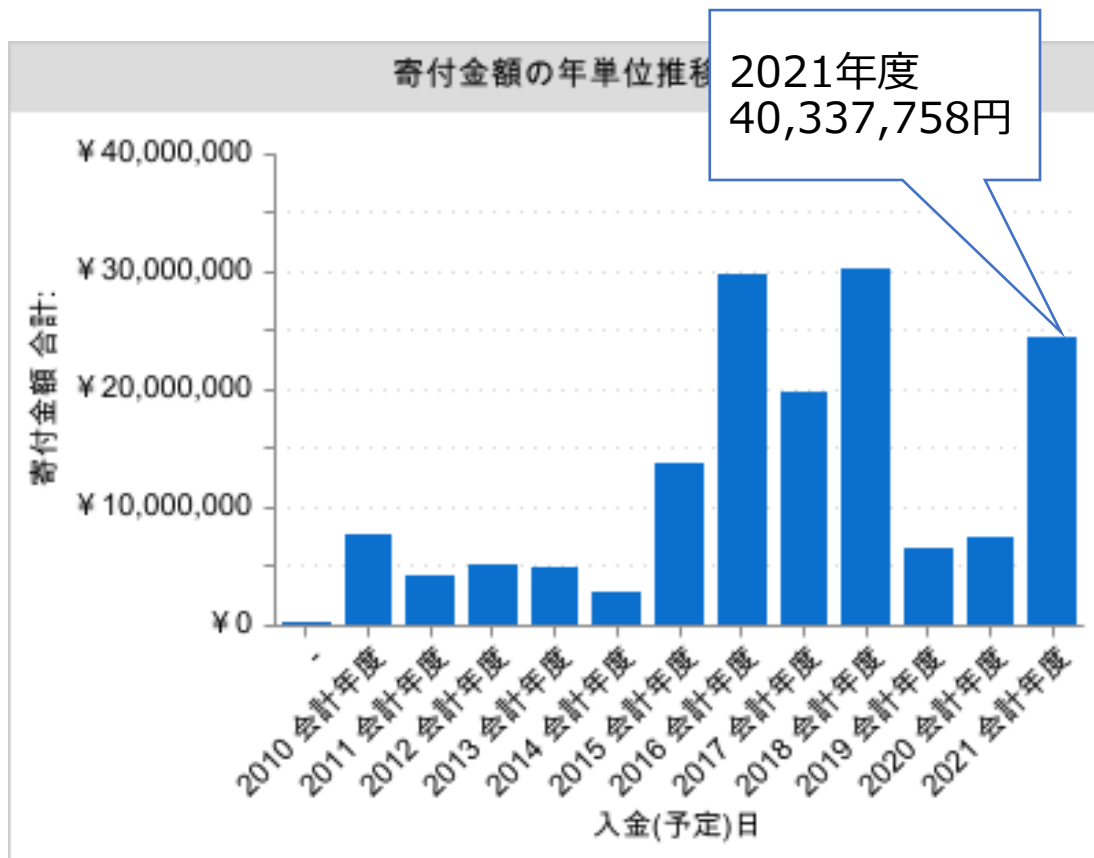
決算（前年度実績対比）－経常増減の部

	2021年度 (実績) (a)	2020年度 (実績) (b)	差額 (a)-(b)	説明
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部（経常費用）				
事業費	54,648,363	54,876,836	-228,473	
内人件費	4,993,104 (8.29%)	5,291,247	-298,143	休眠事業新型コロナ支援事業が増えたためスタッフ増員
内支払助成金	41,280,010 (68.50%)	44,208,552	-2,928,542	・内訳休眠事業：23,711,356円 法人（公2）：17,568,654円
内その他経費	8,375,249 (13.90%)	5,377,037	2,998,212	
管理費	5,606,825 (9.31%)	6,095,133	-488,308	・休眠事業における管理的経費含む
経常支出計	60,255,188	60,971,969	-716,781	経費のうち68.5%は助成金として支出
当期経常増減額	0	-541,025	541,025	

決算（前年度実績対比） — 一般正味財産、指定正味財産

	2021年度 (実績) (a)	2020年度 (実績) (b)	差額 (a)-(b)	説明
I 一般正味財産増減の部				
当期一般正味財産増減額	0	-541,025	-541,025	
一般正味財産期首残高	2,953,767	3,494,792	-541,025	
一般正味財産期末残高	2,953,767	2,953,767	0	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	40,337,758	7,394,952	32,942,806	・今年度の受取寄付金額大幅に増
一般正味財産への振替額	15,645,396	6,115,092	9,530,304	
当期指定正味財産増減額	24,692,362	1,279,860	23,412,502	
指定正味財産期首残高	9,252,209	7,972,349	1,279,860	
指定正味財産期末残高	33,944,571	9,252,209	24,692,362	
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	36,898,338	12,205,976	24,692,362	

寄付金額と件数の推移



寄付金額

172,753,649円

延べ寄付者数

2,872件

公1 情報流通事業

沖縄の寄付文化醸成のため全国との連携を図っている。2021年度は、全国コミュニティ財団協会では副会長として務めており、会員数は、会員数は30法人と年々増加傾向にあり、全国におけるコミュニティ財団の信頼性の向上と政策提言、環境整備に努めている。また、全国レガシーギフト協会では、理事を務め、遺贈寄付の推進に取り組んでいる。

「公1 情報流通事業」は、設立時より公益ポータルサイトを運営しているが、10年の経過とともに、見直しの必要に迫られている。本年度は、公益目的事業の要件を満たしながら、慎重に見直しを進めている。また、円卓マニュアルの改訂を行い、販売を行った。依然として資金の調達ที่難しい構造になっており、新しい事業資金の調達方法を考えていく必要があると考える。

公1 情報流通事業 実施した事業

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -1)	公益ポータルサイトの運営	通年	公益ポータルサイトの再構築に着手。沖縄NPO検索は団体情報が古くなっていることから、一度掲載を取りやめ、新規作成を行っている。報告ページをメニューに追加し、助成事業の結果報告をするための準備を進めている。ページ再構築中のためPV数などのカウントは行わなかった
公1 -2)	他機関連携・情報収集	—	<p>全国の動向を知り、沖縄での寄付文化醸成に寄与するため、各機関の研修やフォーラムへ参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おきなわ市民活動支援会議へ参加（月1回） ・全国コミュニティ財団協会（以下全コミ財） 副会長 理事会、研修会への参加 ・全国レガシーギフト協会 理事 ・寄付月間Giving December 欲しい未来へ、寄付を送ろう ・寄付月間推進委員

区分	事業名	実施時期	事業の概要
公1 -4)	ソーシャル・ヒトワクの放送	月1~2本 再放送あり (4本)	NPOの活動紹介と、NPOの活動を紹介するトーク番組をタイフーンfm (78.0MHz)で放送した。 NPOヒトワク- 放送回数12回 (2010年度からの通算225回)
公1 -5)	みらいファンドニュースの発行	月1回程度 臨時号あり	メール、Facebookなど即時性を活かした情報発信を行う。助成やイベント等の情報を発信し、NPOのみならず社会貢献に関心のある方へ情報を提供し、参加機会の提供を行う。
公1 -5)	季刊広報誌の発行		今年度の発行は特になかった。

公2 資金循環事業

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会状況が大きく変化した。課題解決に取り組むNPOも新規ニーズが生まれ、既存ニーズの拡大、事業モデルの転換など、大きな変化を迫られた。そのような状況に対して、休眠預金交付金事業の新型コロナウイルス対応緊急支援助成を申請し『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業を採択いただき、県内の課題解決に取り組む団体に、助成総額：21,600,000円の助成事業を実施。6団体に助成を行った。今後、新型コロナウイルスの状況に応じて、助成支援メニューなどの検討が必要と考える。

「寄付と助成のプログラム」では、第14期は、5事業が採択され寄付募集を行っており、多くの寄付金が寄せられた。カスタマイズは、コロナ禍において緊急的に取り組んだ基金もあり、事業として停滞しているものがある。今後見直す時期を定期的に設ける必要がある。

基金数が、年々増えていくことから、基金運営については、いっそうの効率化と基金目的を達成するための運営が求められる。

「地域円卓会議」は、コロナ禍で対面で集まることが難しいなか、オンライン型の円卓会議を開発を行った。コロナ禍で課題が山積する中、議論を止めることなく、地域課題を共有できる場を社会に提供することができた。また、オンラインと対面を併用したハイブリッド円卓会議の開催が増え、事務コストや体制もかかることから、通常メニューとして価格設定を行う必要がある。

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -(1)	テーマ型基金 C001 世界若者ウチナンチュ大会支援基金	2012年6月設置	今年度は特に活動なし。基金の今後の展開については、今後も継続することが確認された。
公2 -(1)	テーマ型基金 C002 沖縄まちと子ども基金	2012年12月設置	2021年度は CFJ47コロナ基金より162,000円の寄付、真如苑より700,000円の寄付があった。
公2 -(1)	テーマ型基金 C003 沖縄・離島の子ども派遣基金	2020年度設置	沖縄・離島の子ども派遣基金事業の実施にともない基金設置。 第100回全国高校サッカー選手権大会（西原高校サッカー部） 1件、95人、8,768,823円の寄付募集を行い助成した

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (1)	テーマ型基金 C005 まちなか留学HelloWorld	2020年度設置	Pc007（たくすカスタマイズ）からテーマ型基金へ移行 「世界各国に友達を！まちなか留学体験を様々な境遇の子どもたちに提供したい」 提案者：ハローワールド株式会社

公2 - (1)	テーマ型基金 C006 首里まちづくり基金	2022年度設置	基金の目的 首里地域のまちづくりの事業に対して基金を設置、寄付募集を行うと同時に、地域内から応募された企画に対して助成金を届けることで、首里城復興に合わせた地域の課題解決や地元の方にも観光客にも魅力的なまちづくりに寄与すること。
-------------	--------------------------	----------	---



2022年3月3日
第1号寄付者オリオンビール株式会社との共同記者会見

提案者：首里城周辺まちづくり団体連絡協議会

当基金運営委員会の参加団体

- ・ 1) 古都首里のまちづくり期成会
- ・ 2) 首里振興会
- ・ 3) 御茶屋御殿復元期成会
- ・ 4) 城西小学校区まちづくり協議会
- ・ 5) 首里三ヶ城南校区まちづくり協議会
- ・ 6) NPO法人 首里まちづくり研究会(すいまち研) ※首里社会議事務局担当

さらにオール首里を目指し以下の団体も賛同参画

- ・ 7) 城東小学校区まちづくり協議会
- ・ 8) 石嶺小学校区まちづくり協議会
- ・ 9) 大名小学校区まちづくり協議会

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第13期たくす	寄付募集支援期間 2020年9月～2021年8 月	寄付募集期間 2020年9月～2021年8月 採択団体：2団体 ・NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさー ・一般社団法人 沖縄県女性の翼 寄付受入総額 1,438,000円 助成総額 1,222,300円
公2 -2)	寄付と助成のプログラム 第14期たくす	寄付募集支援期間 2021年9月～2022年8 月	募集期間：2021年7月26日～8月17日 選考会： 日時：2021年8月26日（金）18:00～20:00 場所：みらいファンド沖縄事務所及びオンライン会議システムZOOM 採択団体：5団体 ・NPO乳がん患者の会ぴんく・ぱんさあ（継続） 「乳がん患者が「元気に乳がんと闘う」ための環境づくりプロジェクト」 ・一般社団法人 沖縄県女性の翼（継続） 「女性のための自立支援金「沖縄県女性の翼・OK基金」」 ・株式会社アソシア（新規） 「若者シングルマザーを応援するシェルター支援事業」 ・子どもの居場所こぼんち（新規） 「子ども達にとって<家庭・学校に次ぐ第三の居場所>地域で見守るネット ワークづくり」 ・一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ（新規） 寄付募集目標総額 16,085,150円

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要		
公2 -2)	寄付と助成のプログラム たくす カスタマイズ	寄付募集支援期間			
基金名	助成先	2021年度寄 付額	基金総額	所感	
Pc003 首里城アーカイブ基金	沖縄デジタルアーカイブ協議会	¥ 12,000	¥ 843,973	2019年度設置	
Pc005 多文化ネットワークfuふ！おきなわ基金	多文化ネットワークfuふ！おきなわ	¥ 0	¥ 1,050,000	2020年度設置 助成実施	
PC006 Oki Hands Oki Hearts ド ネーションショップ基金	Oki Hands Oki Hearts	¥ 10,000	¥ 60,000	2020年度設置	
Pc007 まちなか留学HelloWorld	HelloWorld 株式会社	¥ 665,000	¥ 815,000	2020年度設置→テーマ型に移行	
Pc008 ミマモライド基金	合同会社トキニライド	¥ 72,000	¥ 72,000	2020年度設置	
Pc009 宮城巳知子ピースフィルムラ イブラリー基金		¥ 0	¥ 50,000	2020年度設置	
Pc010 フードバンクオキナワ基金	フードバンクセカンド ハーベスト沖縄	¥ 218,000	¥218,000	2021年度設置	

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J003 宮里大八国際交流基金	2015年設置	コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回は公募は行わなかった
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J004 新崎盛暉平和活動奨励基金	2017年1月設置 寄付募集支援期間 2020年4月～	<p>沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金を設置します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（第4期）募集期間：2021年4月13日（月）～5月29日（金） ・選考会：日時：2021年6月26日（土）17:00～18:00 場所：みらいファンド沖縄事務所（Zoom併用のハイブリッド式） ・助成金額：70万円 吉川秀樹さん、宮城秋乃さん（前回採択の追加助成） ・報告会は、コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送った
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J005 琉球宇温基金	2019年設置	<p>志半ばで亡くなった宇温が参画していた活動をサポートし、課題の解決に貢献すると共に彼の遺志を引き継ぎ、彼の「幸せをつなぐ」という志を引き継ぎたい家族と有志が集まり、この基金を設立。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会：日時：2021年9月25日（土）10：30-12：00 場所：オンライン会議システム（ZOOM） ・助成金額：30万円×2件 <ul style="list-style-type: none"> 1. 特定非営利活動法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ 2. 一般社団法人 大学コンソーシアム沖縄

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 -3)	じぶん基金（個人創案型基金） J006 中野五海篠木あつ子基金	2020年4月設置	国民国家の枠組みに囚われない平和意識の覚醒・構築（パラダイムチェンジ）を指向する研究。若手及び民間研究者の研究活動を助成し、その成果を社会に還元すること。 今年度は募集せず



区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(1~3)	以上の基金・プログラムのファンドレイジング等の支援に関する業務	1月	遺贈寄付勉強会の実施 参加団体 みらいファンド沖縄、シナジープラス、TAパートナーズなど
公2 -(5)	地域づくりのための 助成事業活用シンポジウム	12月	<p>助成団体ネットワークオンラインセミナー 「コロナ禍における問題設定から助成評価、次のアクションまで」</p> <p>日 時：2021年12月8日（木）14:00～18:00 場 所：沖縄県総合福祉センター 5階 501教室 参加者：33名 司会：平良斗星（（公財）みらいファンド沖縄）</p> <p>第1部 基調講演：可児 卓馬氏 （公益財団法人京都地域創造基金 専務理事）</p> <p>第2部 鼎談形式 + ミニグループワーク 可児 卓馬氏（公益財団法人京都地域創造基金 専務理事） 渡嘉敷洋美氏（那覇市役所 市民文化部まちづくり協働推進課 主幹）</p> <p>■主 催 地域づくりのための助成事業活用シンポジウム実行委員会 ■構成団体 沖縄県地域づくりネットワーク、おきなわアジェンダ21 県民会議、沖縄県企画部、（公社）沖縄県地域振興協会、社会福祉法人 沖縄県共同募金会、社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会、（公財）沖縄 県文化振興会、沖縄銀行、琉球銀行、沖縄ろうきん、コープ沖縄、沖縄 子どもの未来県民会議、琉球新報、（公財）みらいファンド沖縄</p>

* 公2-(4)キャンペーン型基金については当年度は実施していない



区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	47コロナ基金・医療機関支援助成事業	8月	本基金管理者（全国事務局）：公益財団法人 地域創造基金さなぶり 事務運営者（担当窓口）：公益財団法人みらいファンド沖縄 事務手続きの流れ：助成団体募集、審査、助成金振込 助成先：（3団体） かな病院、沖縄赤十字病院、浦添総合病院 助成総額：450万円
公2 -5)	47コロナ基金・子ども支援助成事業	-	助成総額：16万2千円 まちと子ども基金に繰り入れる



区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	休眠預金活用事業 2019年度通常枠 沖縄・離島の子ども派遣基金事業	2019年12月～ 2023年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数、旅費負担額 2020年度：23件、194人 2021年度：68件、652人 合計：91件、846人、8,816,273円 実行団体（2020年度助成額：21,110,000円） 一般社団法人沖縄県サッカー協会 NPO法人豊見城市体育協会 株式会社ハブクリエイト（石垣） ・集合研修の開催 8/11（火） 13時00分～16時 ・円卓会議1回11/29（月） 豊見城市体育協会 ・円卓会議2回12/5（日） 沖縄県サッカー協会 ・円卓会議3回12/14（火） ハブクリエイト ・円卓会議4回12/15（水） ハブクリエイト ・円卓会議5回2/20（日） 評価 ・集合研修の開催 3/2（木） 13時～17時
公2 -5)	休眠預金活用事業 2021年度通常枠 「見守り自販機を活用した道迷い搜索と地域作り～認知症でもお出かけできる地域作りを目指して～」	2021年2月～ 2025年3月	<p>【担当PO/平良 JV地域振興協会/川上 伊波】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請金額：151,651,940円（3年） ・申請者：みらいファンド沖縄・地域振興協会JV ・申請状況：1次不採択、2次採択 ・資金提供契約日：2月28日 ・備考：資金提供契約日2月28日 3月：事業開始 4月：募集開始 5月：採択 6月：実行団体事業開始



区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -5)	休眠預金活用事業 新型コロナウイルス対応緊急支援助成 『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業	2020年8月～ 2021年7月	<p>【担当PO/平良・鶴田 会計/比嘉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 期 間：2020年8月～2021年6月→7月（8月報告完了） ・ 契約額：28,253,000円（内助成21,600,000円） ・ 確定額：26,916,400円（内助成20,275,371円） ・ 体 制：雇用を6月一杯を調整し7月中旬まで延長 ・ JANPIA監査：2022年1月17日（月） <ul style="list-style-type: none"> ・ 10：00－12：00 コロナ助成実行団体意見交換会 ・ 13：00－14：00 資金分配団体監査 <p>実行団体一覧</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.特定非営利活動法人1万人井戸端会議（助成金額：3,497,350円） 課題の見える化と行動できるコミュニティへ 2.特定非営利活動法人沖縄NGOセンター（助成金額：3,596,520円） 多文化共生セーフティネットワークの構築 3.NPO法人沖縄県学童・保育支援センター（助成金額：3,600,000円） コロナ禍だからこそ繋がろう！ 4.一般社団法人おきなわジュニア科学クラブ（助成金額：3,006,377円） 子どもの居場所×フードパントリー 5.特定非営利活動法人沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい（助成金額：3,575,326円） アンダーコロナに対応するICT整備事業 6.一般社団法人琉球フィルハーモニック（助成金額：3,600,000円） 音楽による子どもの居場所づくり：ジュニアジャズオーケストラ活動

公2 資金循環事業

区分	事業名	実施時期等	事業の概要
公2 - (6)	地域円卓会議の開催・支援	通年	地域の社会的課題の解決のための対話の場である「地域円卓会議」の開催・支援を行った。 地域円卓会議：13回 参加人数：254名（昨年度249名 昨年比+5名）

	日付	内容	主催	参加人数
1	4/7 (水)	第2回コロナ禍の子ども支援者地域円卓会	みらいファンド沖縄	26名
2	5/23 (日)	アフターコロナの繋多川公民館を考える地域円卓会議	NPO法人1万人井戸端会議	42名
3	5/25 (火)	休眠預金コロナ禍緊急助成地域円卓会議	みらいファンド沖縄	22名
4	11/9 (火)	八重瀬町まちづくり地域円卓会議	八重瀬町	23名
5	11/29 (月)	【第2弾】部活動派遣費を考える地域円卓会議in豊見城	豊見城市体育協会 みらいファンド沖縄	6名
6	12/5 (日)	【第2弾】サッカー協会と部活動派遣費問題を考える地域円卓会議	沖縄県サッカー協会 みらいファンド沖縄	2名
7	12/8 (水)	遺贈寄付を考える円卓会議（みらいファンド10周年記念）	みらいファンド沖縄	12名
8	12/11 (土)	南城市デジタルアーカイブ活用円卓会議	南城市教育委員会	38名
9	12/14 (火)	【1日目】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議in八重山	ハブクリエイト みらいファンド沖縄	7名
10	12/15 (水)	【2日目】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議in八重山、	ハブクリエイト みらいファンド沖縄	2名
11	12/22 (水)	子どもの権利条例地域円卓会議	真如苑 みらいファンド沖縄	27名

	日付	内容	主催	参加人数
12	2/20 (日)	【第3弾】部活動派遣費問題を考える地域円卓会議	みらいファンド沖縄	9名
13	3/8 (火)	八重瀬町 水資源の活用のあり方に関する地域円卓会議	八重瀬町 琉球大学 JST SOLVE for SDGsプロジェクト	38名



12/8 遺贈寄付を考える円卓会議 (みらいファンド10周年事業)

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
公2 -(6)	コレクティブインパクト事業	通年	沖縄における重要課題において、コレクティブインパクトで社会課題解決を行う事業に取り組む ①沖縄県認知症高齢者見守り推進事業 ②子どもの貧困問題の解決
公2 -(6)	寄付月間2021	12月	遺贈寄付を考える円卓会議（みらいファンド10周年記念） 日程：2021年12月8日(水)18:30-21:10 (受付開始18:00～) 場所：沖縄県総合福祉センター 5階 501教室 参加者：12名 主催：みらいファンド沖縄
公2 -(6)	各種勉強会の開催	随時	特になし

* 公2-(7)寄付付き商品の企画・提案・コーディネートについては当年度は実施していない

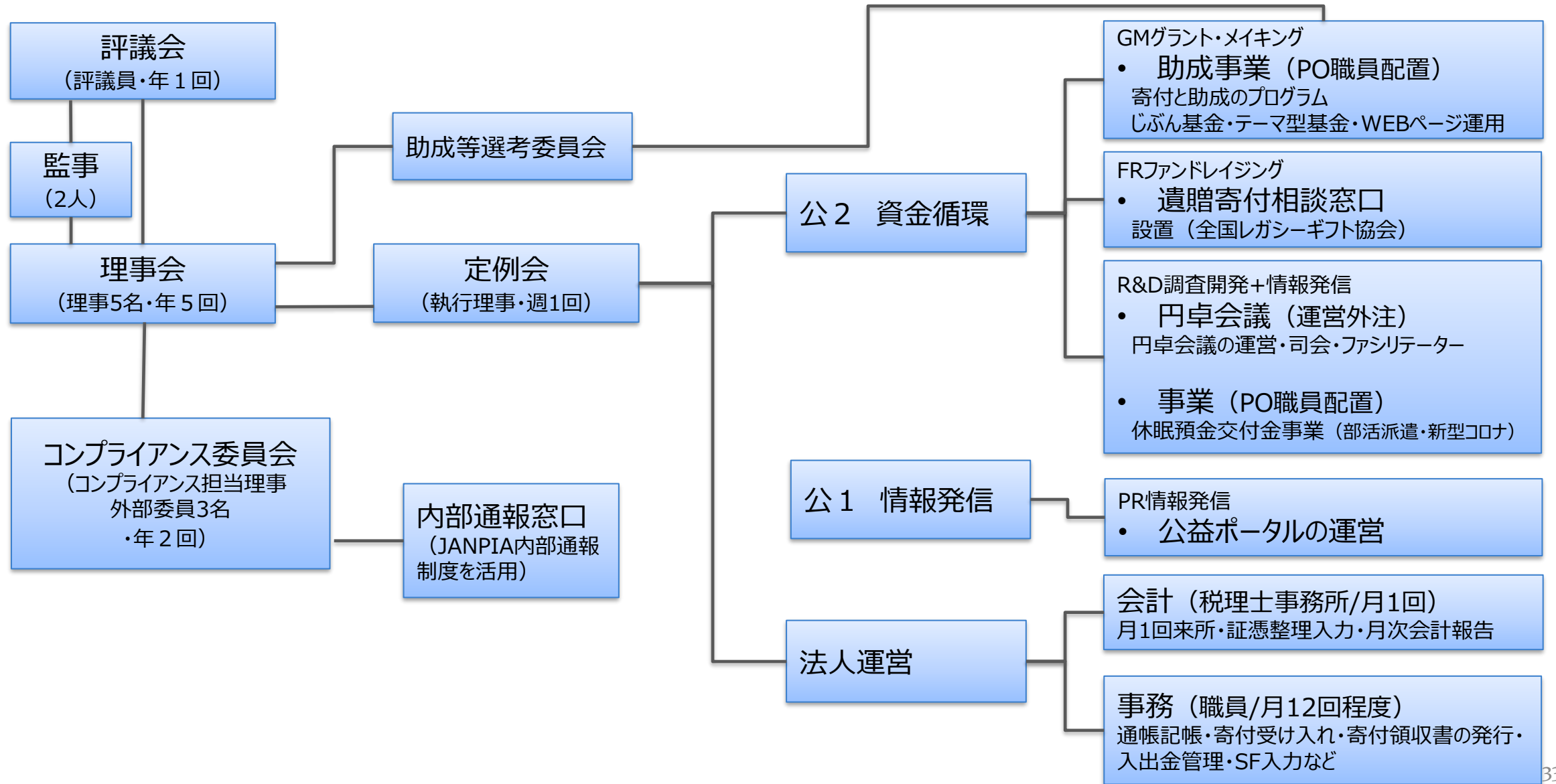
法人運営

より高いガバナンス・コンプライアンスが求められており、コンプライアンス委員会より指摘のあったコンプライアンス研修を実施した。内部通報窓口からの通報件数は0件。ガバナンス・コンプライアンスの強化を図るため、個人情報保護についてのコンプライアンス研修を実施した。

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	評議員会の開催	6月	第1回 定期評議委員会 日時：2021年6月21日（月）13:30～15:30 場所：みらいファンド沖縄 事務所 および オンライン会議Zoom 議事：第1号議案 2020年度事業報告及び決算の承認の件
法人	監事監査	5月	日時：2021年5月14日（金）10:30～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 監事：名城佳枝 山崎新
法人	理事会の開催	通年	第1回 2021年6月4日（金）10:00～12:00 前年度事業報告の承認など 第2回 2021年9月17日（金）10:00～12:00 法人運営状況報告 第3回 2021年11月5日（金）10:00～12:00 法人運営状況報告 第4回 2022年1月28日（金）10:00～12:00 法人運営状況報告 第5回 2022年2月25日（金）10:00～12:00 法人運営状況報告 第6回 2022年3月25日（金）10:00～12:00 次年度事業案および予算計画案について 場所：みらいファンド沖縄 事務所 および オンライン会議Zoom
法人	コンプライアンス委員会の開催	9月 3月	第1回 2021年10月1日（金）10:00～11:30 個人情報保護・管理方法について 第2回 2022年3月11日（金）10:00～12:00 個人情報保護・管理方法について 場所：みらいファンド沖縄 事務所 委員：大浅田均、保田隆男、仲根佑亮
法人	コンプライアンス研修の実施	3月	テーマ：個人情報保護について 講師：横江崇（美ら島法律事務所） 日時：3月4日（金）10:00～12:00 場所：みらいファンド沖縄 事務所 参加者：役職員

区分	事業名	実施時期	概要と事務局所感
法人	事務局体制	随時	<p>定例会 毎週金曜日10時 未来ファンド定例（常務理事2名にて実施） 毎週火曜日10時 休眠預金定例（常務理事2名および職員2人にて実施）</p> <p>職員：新城やよい（週3回勤務） 嘉数菜利子（週3回勤務） 休眠部活担当PO 金城愛弥（週2回勤務） 休眠部活担当PO補助（2022年2月業務終了） 比嘉恒晴 休眠部活担当PO補助（2022年2月～） 松田かなこ（週3回勤務） 休眠ミマモリ担当PO（2022年3月雇用）</p> <p>鶴田厚子（週3回勤務） 比嘉智子（週2回勤務） ※新型コロナウイルス対応休眠預金事業に係る業務担当（2021年7月業務終了）</p> <p>会計業務・月次報告：大城税理士事務所に委託 ※緊急事態宣言中、まん延防止期間中は在宅勤務でも可とした</p>

当法人におけるガバナンス 組織体制



役員一覧

評議員（任期（4年）：2018年6月3日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
評議員	イナガキ ジュンイチ 稲垣 純一	一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター 理事長
評議員	マキヤ ミツコ 真喜屋 光子	有限会社センチュリー経営企画（マキの靴）代表取締役
評議員	ノハ マサヒロ 饒波 正博	沖縄赤十字病院勤務 なは市民協議会
評議員	イトカズ ミキ 糸数 未希	NPO法人にじのはしファンド代表
評議員	モトムラ マコト 本村 真	琉球大学キャリア教育センター センター長・人文社会学部教授
評議員	ツヅキ ヨウコ 續 洋子	NPO法人1万人井戸端会議 副代表/事務局長

理事（任期（2年）：2020年6月18日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
理事 代表理事	ゴサカ ワタル 小阪 亘	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく 代表理事
理事 副代表理事	タイラ トウセイ 平良 斗星	株式会社エフエム那覇 会長
理事	オナガ コウキ 翁長 有希	一般社団法人沖縄県キャリア支援・教育連携協議会 理事 一般社団法人be.らぼらとり 代表理事
理事	テルキナ トオル 照喜名 通	沖縄県難病相談支援センター 認定NPO法人 アンビシャス 副理事長
理事	チネン タダヒコ 知念 忠彦	医療法人天仁会 天久ヒルトップ 施設長

監事（任期（4年）：2018年6月22日～2022年評議員会まで）

役職	氏名	所属
監事	ナシロ ヨシエ 名城 佳枝	大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、沖縄県金融広報アドバイザー
監事	ヤマザキ アラタ 山崎 新	一般社団沖縄じんぶん考房 代表理事

組織概要

名称	 公益財団法人 みらいファンド沖縄
英名	Mirai Fund Okinawa Inc. Foundation
設立年月日	2010年4月23日
公益認定日	2011年4月1日
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	小阪 亘
設立経緯	財団設立供出金300万円を 93名の市民から寄付を頂いて 設立
住所	〒903-0824 沖縄県那覇市首里池端町34 2Fタイフーンfm内
加盟団体	一般社団法人全国コミュニティ財団協会 一般社団法人全国レガシーギフト協会

みらいファンド沖縄は、市民のみなさまからの寄付により、設立した「市民立」の財団です。

沖縄の公益活動団体を意志ある人々によって支え合う——みらいファンド沖縄の設立趣意に共感し、設立時拠出金をご寄付くださいましたみなさまに、感謝申し上げます。



設立時拠出金に寄付くださったみなさま

(五十音順・敬称略)


秋葉 武 新井 裕子 新垣 八重子 (有)新垣ちんすこう菓子店
有井 安仁 東濱 克紀 認定NPO 法人アンビシャス
石原 達也 今津 新之助 岩田 直子 (株)エフエム那覇
(株)エフエム21 遠藤 聡志 大城 逸子 大城 喜江子
大城 幸代 大城 成信 大城 武久 大見謝 恒章
NPO 沖縄シニアの会 川北 秀人 菊之露酒造(株) 金城 嘉志
金城 和光 (株)クレイ沖縄 古我知 浩 小阪 亘 小橋川 繁
小松 かおり 呉屋 貴司 佐久間 愛弓 下地 美香
(特活) 首里まちづくり研究会 佐脇 広平 新開 育恵
新星出版(株) 杉浦 幹男 関口 宏聡
税理士法人添石総合会計事務所 添石 幸伸
(特活) ソーシャル・デザイン・ファンド 平良 斗星 平良 恵津子
地域情報エージェント(株) 知花 茂 知念 金徳
(特活) ちゅらしまフォトミュージアム 當間 愛晃 戸田 幸典
渡真利 雅男 仲村 一真 中村 聡 (特活) 日中文化交流センター
比嘉 司 平井 雅 福岡 智子 前田 比呂也 真喜屋 光子
(特活) まちなか研究所わくわく 松本 哲治 宮里 大八
宮道 喜一 宮島 さおり 米野 史健 山城 岩夫 山城 司
与儀 隆一 與古田 清順 (特活) ライフサポートてだこ
(有) ルーツ 若尾 貴広 若尾 美希子 渡邊 真寿美
匿名にて寄付くださった方々

(合計 93 名、300 万円)

受入れ寄付額と助成の実績（2010-2019）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2010 (第1期)	立上期 財団機能 基盤構築	9,197,780円	9,197,780円	5,755,250円	・受入寄付額には拠出金を含む ・震災関連寄付を含む
2011 (第2期)		3,824,684円	13,022,464円	2,427,218円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む ・震災関連寄付を含む
2012 (第3期)		5,170,037円	18,192,501円	3,709,315円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2013 (第4期)	助成プログラ ム・円卓会議 の確立	4,920,777円	23,113,278円	2,383,834円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2014 (第5期)		2,760,362円	25,873,640円	2,549,919円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2015 (第6期)		12,718,093円	38,591,733円	1,745,517円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2016 (第7期)	FR機能の 強化・確立	29,679,412円	68,271,145円	1,325,250円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2017 (第8期)		19,839,830円	88,110,975円	3,287,547円	・受入寄付額にはみらいファンド 沖縄への寄付を含む
2018 (第9期)		30,349,469円	118,460,444円	70,000,454円	・受入寄付額にはみらいファ ンド沖縄への寄付を含む
2019 (第10期)		6,560,495円	125,020,939円	4,342,750円	・受入寄付額にはみらいファ ンド沖縄への寄付を含む

受入れ寄付額と助成の実績（2020-2029）

		受入寄付 年度達成額	受入寄付 累積達成額	助成金交付 年度実施額	備考
2020 (第11期)		7,394,952円	132,415,891円	44,208,552円	休眠預金事業の部活派遣事業とコロナ支援事業の助成金の内訳が39,888,015円
2021 (第12期)		40,337,758円	172,753,649円	41,280,010円	休眠預金事業の部活派遣事業とコロナ支援事業の助成金の内訳が23,711,356円
2022 (第13期)					
2023 (第14期)					
2024 (第15期)					
2025 (第16期)					
2026 (第17期)					
2027 (第18期)					
2028 (第19期)					
2029 (第20期)					

略年表 (2009-2013)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2009 H21	<ul style="list-style-type: none"> •キックオフフォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> •衆議院選挙で民主党圧勝 •裁判員制度施行
2010 H22	<ul style="list-style-type: none"> •法人設立 •那覇市「地域づくり・公益活動支援事業」受託（緊急雇用事業） •「じぶん基金」プログラム2基金スタート •沖縄NPOデータベース公開 	<ul style="list-style-type: none"> •普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「新しい公共」円卓会議 •11月 仲井眞知事 再選 •12月 ISO26000発効 •3/11 東日本大震災
2011 H23	<ul style="list-style-type: none"> •公益財団法人化 •「寄付と助成のプログラム」スタート •H23「沖縄県新しい公共支援事業」受託 •クレジットカードにて寄付決済サービス開始 •PSTをクリアし、税額控除認定を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> •6月 新しい市民公益税制が成立 •6月 改正NPO法が成立 •7月 なでしこジャパン FIFA杯優勝 •10月 世界のウチナーンチュ大会
2012 H24	<ul style="list-style-type: none"> •H24沖縄県「新しい公共支援事業」受託 •「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」設置 •カンパイチャリティを開催 •「沖縄まちと子ども基金」設置 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 新認定NPO法人制度スタート •5月 沖縄の本土復帰40周年 •8月 ロンドンオリンピック •11月 那覇市長に翁長氏が4選 •12月 衆議院選挙で自民党圧勝 •2月 浦添市にNPO出身の市長が誕生
2013 H25	<ul style="list-style-type: none"> •4月 事務局をタイフーンfm内に移転 •6月 国交省 事業受託 •7月 累積寄付受入額 2000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 インターネット選挙解禁 •6月 富士山が世界遺産に •11月 旧民法法人の移行特措期間終了

略年表 (2014-2016)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2014 H26	<ul style="list-style-type: none"> •6月「寄付と助成のプログラム」を再編し公募開始 •6月一般社団法人全国コミュニティ財団協会設立、設立時九州ブロック理事として参画 •3月全国コミュニティ財団協会海外招聘事業フォーラム・研修 「米国のコミュニティ財団100年の歴史に学ぶ」 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 消費税増税（8%に） •5月 日本創生会議が自治体の896が消滅の危機にあると発表。地方消滅（通称増田レポートの発表） •9月 第2次阿部内閣にて、地方創生担当大臣に石破茂とまち・ひと・しごと創生本部を設置。 •9月 FIFAワールドカップ ブラジル大会 •12月 沖縄県知事に翁長雄志氏が当選 •2月 介護保険制度の改正（要支援1, 2が予防給付の対象除外に）
2015 H27	<ul style="list-style-type: none"> •10月 じぶん基金 宮里大八国際交流基金を設置 •12月 寄付月間、全国規模の寄付推進の取り組み、寄付月間推進委員として、沖縄で寄付推進に取り組む •1月 遺贈寄付 第1号を受け入れる •2月8日 みらいファンド沖縄5周年記念イベント ドネーションパーティ&サンクスデー •琉球大学、名桜大学とCOC+円卓会議開催（県内5カ所） 	<ul style="list-style-type: none"> •普天間基地の辺野古移転が白紙に •沖縄県民税の寄附金控除対象法人が拡大 •「戦後70年談話」 •9月10日 関東・東北豪雨 鬼怒川氾濫 •9月19日 参院本会議で“安保法”可決 •11月13日 「パリ同時多発テロ」発生 •12月 寄付月間が、寄付を推進する全国的な取り組みが初めておこなれた。 •2月 国勢調査で初めて人口減少 1920年の調査開始以来初めて。
2016 H28	<ul style="list-style-type: none"> •7月 沖縄県が、県内の深刻な子どもの貧困の解決に向けて 沖縄子ども未来県民会議を設置 事業部会の委員として参画 •11月 マニフェスト大賞 優秀賞 受賞 •11月 全国レガシーギフト協会 設立総会（みらいファンド沖縄加盟） •税額控除認定 更新 •1月 新崎盛暉平和活動奨励基金 を設置 •累積寄付受入額 5000万円を突破 	<ul style="list-style-type: none"> •1月 日銀がマイナス金利政策を導入したことにより、 長期金利が過去最低を更新 •4月14日、16日 熊本地震、初めて震度7が2回観測 •5月 伊勢志摩サミット オバマ米大統領が広島訪問 •12月2日 休眠預金活用法成立 •1月 ドナルド・トランプの第45代アメリカ合衆国大統領就任

略年表 (2017-2020)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2017 H29	<ul style="list-style-type: none"> ・11月 助成財団シンポジウム（助成財団センター）と実施 ・1月 沖縄県で初めて遺贈寄付研修をNPO向け、土業向けに実施 ・3月 沖縄県が寄付月間2017で賛同パートナー特別賞を受賞 ・3月 1年間で16回の円卓会議を開催（過去最高件数） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 トランプ大統領就任、米国第一主義を掲げる ・3月 特定非営利活動促進法 成立20周年 ・7月 都議選で都民ファーストの会が躍進 ・9月 桐生 9秒98 日本人初の10秒台突破 ・10月 第48回衆議院選挙 自民党が3分の2議席
2018 H30	<ul style="list-style-type: none"> ・6月 評議員、理事、監事改選 ・5月 寄付受入金額1億円突破 ・12月 みらいファンド沖縄活動報告書2010-2018発行 ・3月 沖縄式地域円卓マニュアル作成費のためのクラウドファンディング実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 仮想通貨流出、交換業者に改善命令 ・5月 将棋・藤井聡太、最年少で七段に ・8月 翁長沖縄県知事死去 ・9月 玉城沖縄県知事就任 ・11月 2025年大阪万博開催決定
2019 H31 R1	<ul style="list-style-type: none"> ・7月 うむさんラボと協定を結びうむさん基金を設置 ・11月 休眠預金交付金事業「沖縄子どもの派遣基金事業」事業スタート ・3月 理事会にコンプライアンス委員会を設置。第1回開催 ・3月 内部通報窓口の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・1月 休眠預金-指定活用団体の決定 ・1月 休眠預金の発生 ・5月 新元号 令和 ・9月 台風・豪雨災害（台風15号、19号） ・9月 ラグビーワールドカップが日本にて開催 ・10月 消費税10%に引き上げ ・10月 首里城火災 正殿など焼失 ・11月 中国武漢にて新型コロナウイルス発生
2020 R2	<ul style="list-style-type: none"> ・4月 「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関するNPO法人等緊急アンケート」をおきなわ市民活動支援会議で実施（4月6日～4月20日） ・4月 那覇市長に要望書を手交 ・8月 休眠預金活用事業-新型コロナウイルス対応緊急支援助成『コロナ禍で孤立したNPOとその先の支援』事業 採択 ・9月 初めてオンラインで地域円卓会議を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・3月 3日 政府要請により小中学校臨時休校（3/16 再開） ・3月 24日 東京五輪、令和3年に延期決定 ・4月 7日 政府が7都道府県に緊急事態宣言を発出（4/16に全国に拡大）

略年表 (2021-)

年度	みらいファンド沖縄の主なできごと	社会の主なできごと
2021 R3	<ul style="list-style-type: none"> •12月 遺贈寄付を考える円卓会議（みらいファンド10周年記念） •2月 休眠預金活用事業2021枠採択 <ul style="list-style-type: none"> • 「見守り自販機を活用した道迷い捜索と地域作り」 •3月 寄付と助成のプログラムたくす採択団体の株式会社アソシア 「若者シングルマザーを応援するシェルター支援事業」にて大きな寄付金が寄せられる 	<ul style="list-style-type: none"> •4月 3度目の緊急事態宣言（～6/20） •7月 東京五輪（夏季）開幕 •8月 東京パラリンピック開幕 •9月 デジタル庁始動 •10月 岸田内閣発足、衆議院議員解散 •11月 第2次岸田内閣発足 •11月 大リーグ エンゼルス大谷翔平選手 MVP •11月 オミクロン株確認 •2月 北京五輪・パラ（冬季）開幕 •2月 ロシア軍、ウクライナ侵攻